

科目名 Subject	描画技法 Art & Design			教員名	栗本 佳典	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	△			◎		
科目の概要	鉛筆デッサンを中心に、対象物の形や構造、明暗を正確にとらえる方法を学び、描いた物と対象物を比較しながら根気強く描写することにより、形や状態に対する目と脳と手の総合的なトレーニングを行います。					
授業方法	対面授業					
授業の目標	物体や人体の形や明暗を、先入観にとらわれることなく客観的にとらえ表現する力を高めるとともに、美齢学の柱である美容にとって大切な、常に全体を意識しながら部分とのプロポーションを見る力を身に付け実践することができる。 また、実技を積み重ねることによって実力が高まっていくことを実感し創作意欲を高め、自主的に制作することができる。					
時間外学習 (予習・復習)	身近な物をモチーフにしてデッサンを行い観察力と描写力を日常的に訓練してください。 約2時間のデッサンを1週間に1回行ってください。					
教科書・教材	教科書		なし			
	教材		なし			
	使用設備・備品		なし			
	参考文献		なし			
評価方法	技法の理解度20% 課題に取り組む姿勢50% 課題作品の完成度30%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意						
本科目履修と関連する資格	資格名					

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	静物デッサン	形の基本となる幾何形体の構造や遠近感を捉える力を養い描くことができる。	
第 2 回	静物デッサン	形の基本となる幾何形体の構造や遠近感を捉える力を養い描くことができる。	
第 3 回	石膏デッサン①捉える	顔の形、体との関係、立体感、明暗などを総合的に捉えることができる。	
第 4 回	石膏デッサン①捉える	顔の形、体との関係、立体感、明暗などを総合的に捉えることができる。	
第 5 回	石膏デッサン②表現する	形や明暗などを総合的に捉え表現出来るようになる。	
第 6 回	石膏デッサン②表現する	形や明暗などを総合的に捉え表現出来るようになる。	
第 7 回	細密描写	物をしっかりと観察し、明暗や色を精密に描くことで、写実的な表現が出来るようになる。	
第 8 回	細密描写	物をしっかりと観察し、明暗や色を精密に描くことで、写実的な表現が出来るようになる。	
第 9 回	人物クロッキー	人物の形や動きを短い時間でとらえ、表現することができる。	
第 10 回	人物クロッキー	人物の形や動きを短い時間でとらえ、表現することができる。	
第 11 回	スクラッチ画①削る	物体の明暗を、黒い画面を削って描写することができる。	
第 12 回	スクラッチ画①削る	物体の明暗を、黒い画面を削って描写することができる。	
第 13 回	スクラッチ画②表現する	黒い画面を削って描画することにより、面と光の関係を表現することができる。	
第 14 回	スクラッチ画②表現する	黒い画面を削って描画することにより、面と光の関係を表現することができる。	
第 15 回	講評会	互いの作品について話し合うことで、見る力、伝える力を養い、批評することができる。	